議会だより

東みよし

41号 2016

6月議会号

夏だ。プールだ。イエ～イ!!

ー昼間小学校ー

正副議長、委員会構成の再編成

2P 新 議長に 安藤孝明氏

水道水の安定した供給のために

4P 浪内浄水場ろ過機の更新

13P 一般質問に5人

平成28年8月10日発行

徳島県東みよし町議会

東みよし町議会
新体制でスタート

議長に安藤（あんどう）孝明（たかあき）氏

副議長には松浦（まつうら）敬治（けいじ）氏

平成26年に町議会議員の選挙が行われ、2年が経過した本年、任期4年の折り返しとなる5月10日に第2回臨時会を開き、正副議長をはじめとする議会構成の再編成を行いました。

臨時会では、中川祐司議長から辞表が提出されたため、坂本健二副議長が議長を務め、行われた議長選挙では、安藤孝明氏（63歳　西庄）が指名推薦によって選任されました。安藤氏は旧三加茂町からの町議歴を含めると現在6期目です。

引き続き、安藤新議長のもとで行われた副議長選挙では、松浦敬治氏（51歳　西庄）が指名推薦によって選任されました。松浦氏の町議歴は現在2期目です。

安藤孝明議長　　松浦敬治副議長

教育厚生常任委員会

川原勝市委員、井添伸一委員、横関道恵委員
三好正治委員長、長谷川吉正副委員長

住民課（国民健康保険、後期高齢者医療、年金に関する事務）、福祉課、健康づくり課、環境課（水道、下水道に関する事務を除く）、教育委員会、生涯学習課、学校教育課に関する事務の調査及び議案、陳情、請願等の審査を担当します。

総務常任委員会

宮　賢司委員、安藤孝明委員、加藤義博委員、松浦敬治委員
松浦明人委員長、坂本健二副委員長

総務課、企画課、税務課、住民課（国民健康保険、後期高齢者医療、年金に関する事務を除く）、会計課に関する事務ならびに他の常任委員会に属しない事務の調査及び議案、陳情、請願等の審査を担当します。

議長就任のご挨拶

安藤　孝明

このたび議員各位のご推挙をいただきまして、東みよし町議会議長に就任いたしました。まことに身に余る光栄でございます。

さて、私は浅学非才でありまして、その器でないことはよく承知しておりますが、身を挺してその職務を全うする覚悟でおります。

当町は合併10年目を迎え、少子高齢化や財政難の中で行財政改革を推進しています。また、住環境の整備や福祉の充実など、町の将来を左右する課題が山積しています。町民の皆様のご協力をいただきまして、その一つ一つの課題に取り組み、町の発展のために微力を注いでいくつもりであります。皆様のいっそうのご支援を仰ぎ、議長就任のご挨拶といたします。

臨時会では、正副議長の選任のほか、各常任委員会、特別委員会、議会運営委員会の委員会構成の再編をしました。また、議会選出の監査委員、国民健康保険運営協議会委員、一部事務組合議会議員などを選任しました。

議会運営委員会

◎定員5名

- 委員長　松浦　敬治
- 副委員長　中川　祐司
- 委員　三好　正治
- 委員　松浦　明人
- 委員　川原　正一

吉野川堤防建設促進特別委員会

◎定員8名

- 委員長　槙山　幸一
- 副委員長　三好　正治
- 委員　松浦　明人
- 委員　横関　道恵
- 委員　宮　賢司
- 委員　坂本　正一
- 委員　加藤　義博
- 委員　中川　祐司

地域拠点整備事業対策特別委員会

◎定員8名

- 委員長　松浦　明人
- 副委員長　横関　道恵
- 委員　川原　勝市
- 委員　松浦　敬治
- 委員　坂本　健二
- 委員　宮　賢司
- 委員　長谷川吉正
- 委員　川原　正一

下水道等環境問題特別委員会

◎定員8名

- 委員長　川原　勝市
- 副委員長　坂本　健二
- 委員　三好　正治
- 委員　井添　伸一
- 委員　南　雅彦
- 委員　長谷川吉正
- 委員　川原　正一
- 委員　中川　祐司

議会改革特別委員会

◎定員16名

- 委員長　松浦　明人
- 副委員長　松浦　敬治
- 委員　全員

広報特別委員会

◎定員6名

- 委員長　長谷川吉正
- 副委員長　三好　正治
- 委員　松浦　明人
- 委員　松浦　敬治
- 委員　横関　道恵
- 委員　中川　祐司

その他の委員会委員

■監査委員（1名）

加藤　義博

■農業委員（2名）

南　雅彦、川原　正一

■国民健康保険運営協議会（4名）

- 委員　三好　正治
- 委員　坂本　健二
- 委員　宮　賢司
- 委員　坂本　正一

一部事務組合議会議員

■みよし広域連合議会（4名）

- 議員　松浦　明人
- 議員　長谷川吉正
- 議員　中川　祐司
- 議員　安藤　孝明

■東部火葬場管理組合議会（2名）

- 議員　安藤　孝明
- 議員　松浦　敬治

■徳島県後期高齢者医療連合議会（1名）

- 議員　横関　道恵

産業建設常任委員会

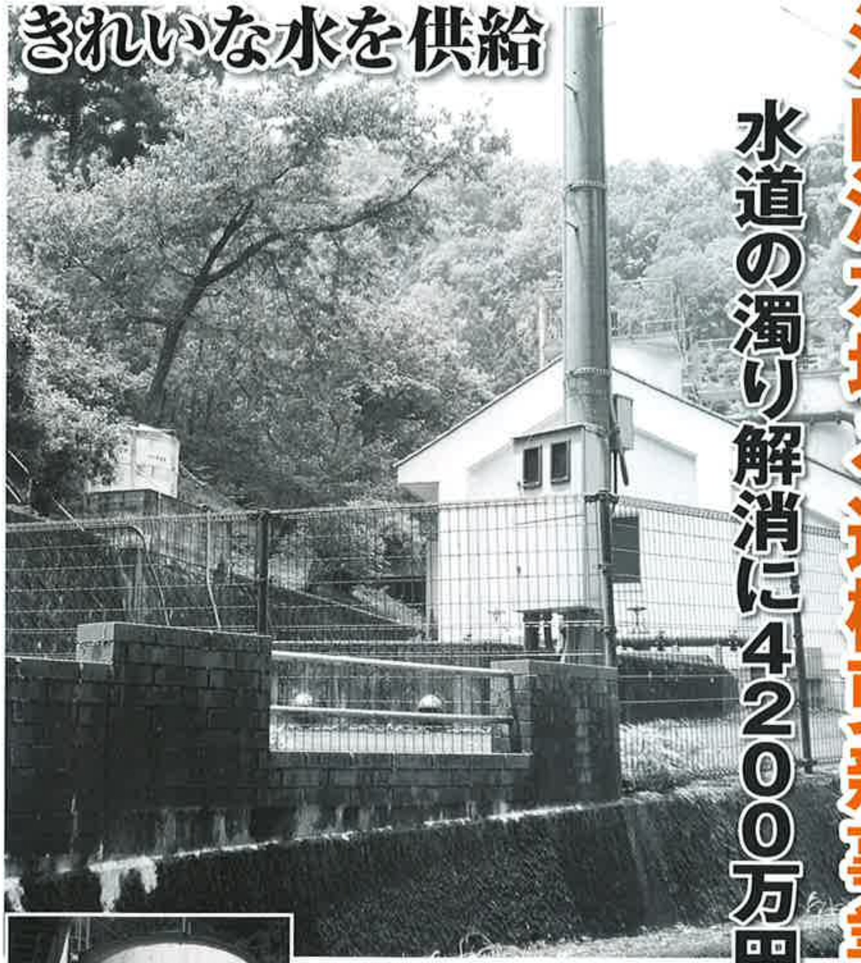
坂本正一委員、南　雅彦委員、中川祐司委員
川原正一委員長、槙山幸一副委員長

産業課、建設課、環境課（水道、下水道に関する事務）、国土調査課、用地対策課に関する事務の調査及び議案、陳情、請願等の審査を担当します。

6月定例会は、6月7日から6月17日までの11日間の会期で開催しました。
この定例会では、平成27年度一般会計補正予算・特別会計補正予算、平成28年度一般会計補正予算・特別会計補正予算、条例改正や9件の専決処分の承認などを審議し、いずれも原案の通り承認・可決しました。
一般質問には5人の議員が登壇して、保育所の民間委託や女性管理職の割合などについて活発な質問を展開し、町の考えをただしました。

浪内浄水場ろ過機更新事業

水道の濁り解消に4200万円



浪内浄水場

委員　どこにあるろ過機を更新するのか。また、その内容は

環境課長　加茂地区、三庄地区の国道から南側の家庭へ、安定した水道水を供給する加茂上水。給水人口は、約3000人。加茂谷川沿いにある浪内浄水場を水源地としている。現在、浄水場には、1972年、1980年、1999年に設置した※急速ろ過機が3基あり、1日の処理能力は、3基の合計で3170トン。その中で、43年前に設置した1972年製のろ過機が、老朽化のため処理能力が著しく低下し、濁りが頻繁に発生している。このため、水道水を飲まれる住民の方に、大変なご迷惑をかけている。今回、この1基を4200万円かけて更新し、きれいな水を供給したい。

※急速濾過は、比較的粗い砂や砂利を使って水中の不純物を濾過する方法。

陳　情

陳情の名称	代表者	審査結果	採決の結果
町発注公共工事における現場打ちコンクリート構造物の適用を求める陳情	徳島県西部 コンクリート協同組合 理事長　川原　隆	採択	全員賛成で可決

補正　6月定例会に提案された平成27年度と平成28年度の各会計の補正予算は次の通りです。

平成27年度

会計名		補正額	補正後の予算額	採決の結果
一般会計（第11号）		1億4273万8千円	82億1494万2千円	全員賛成で可決
特別会計	国民健康保険事業（第4号）	1536万1千円	15億1576万4千円	全員賛成で可決
	簡易水道事業（第5号）	183万6千円	2億4427万3千円	全員賛成で可決
	公共下水道事業（第2号）	▲1581万4千円	2億3932万9千円	賛成13、反対1で可決
	後期高齢者医療事業（第1号）	▲1239万7千円	1億8238万4千円	全員賛成で可決
	三加茂財産区（第1号）	▲1万円	2万8千円	全員賛成で可決

平成28年度

会計名		補正額	補正後の予算額	採決の結果
一般会計（第1号）		9446万1千円	74億755万1千円	全員賛成で可決
国民健康保険事業特別会計（第1、2号）		54万円	14億8959万1千円	全員賛成で可決
簡易水道事業特別会計（第1号）		124万1千円	2億2493万9千円	全員賛成で可決
水道事業会計（第1、2号）	資本的支出	5600万円	1億3815万円	全員賛成で可決

電気柵設置補助に112万円

鳥獣被害防止対策事業

委員　電気柵設置の補助をするとのことだが、総延長はどのくらいか。

産業課長　近年、町内のいたるところで鳥獣による作物被害が報告されている。水の丸管理組合（組合員11名、代表者　川原進）も例外ではなく、サル・イノシシ・シカによる出荷作物（ジャガイモ・トマト・キャベツ・ブロッコリー等）の被害が永年を通して頻発していると報告された。

そこで、専業で農業を営んでいる組合員から、電柵を設置して防除したいという強い要望があった。総延長3620メートルの電気柵で、防除を試験的に行う。総事業費224万円の半額112万円を町が補助する。

畑に設置された電気柵（例）

水道管布設工事に1400万円

水道水の安定供給のために

委員　水道管をどこに、どのくらいの長さを布設するのか。

環境課長　町道天神線（加茂中村、山根地区）に、個人で埋設している給水管が4本ある。これ以上個人が給水管を埋設すると、今後の管理に支障をきたす恐れが出てきた。町で水道管を布設し、対応することにした。布設延長250メートル、工事費400万円。

また、県道三加茂東祖谷山線道路改良工事に伴う水道管変更工事を、鍛冶屋敷の2カ所で行う。特殊な不断水工法により、新たな水道管を総延長25メートル布設する。工事費1000万円。

工事が予定されている
鍛冶屋敷の県道

東みよし町議会では、産業建設、教育厚生、総務の3常任委員会を設置しています。本会議から付託された議案などを6月8日、9日、13日に開催された各常任委員会で活発に審議しました。その主な内容を報告します。

産業 建設

イノシシ作物被害対策

ワイヤーメッシュ柵補助に165万円

委員　ワイヤーメッシュ柵の補助対象と金額は。

産業課長　イノシシによる作物被害を防除するワイヤーメッシュ柵。各地域から当初予定していた数を超える補助の申し込みがあった。要望に答えるため、町で設定する資材単価（620円／メートル）の半額補助（上限310円／メートル）を行う。補助対象は隣接する3戸以上の農家で組織した組合・団体。当初予算55万円と併せて、総事業費は220万円の事業となる。

トタン板と一緒に設置されたワイヤーメッシュ柵（例）

産業 建設

駐車場の舗装整備事業

来場者の不便解消に1100万円

吉野川ハイウエイオアシス

委員　大規模改修が予定されている吉野川ハイウェイオアシスだが、敷地内のどこを舗装するのか。

産業課長　開業してから16年が経つ吉野川ハイウェイオアシスでは、駐車場不足や雨天時に通路の水たまりができ、来場者に不便をかけている。今回、オアシスの西側にあった竪穴式住居等の跡地や既設の駐車場、場内道路のアスファルト舗装工事を行う。約2000平方メートル。

オアシス舗装

産業 建設

生活改善センター改修

施設整備工事に154万円

委員　どこの生活改善センターの改修工事をするのか。施設の築年数は。

産業課長　昭和55年度に建てられてから35年が経つ、泉野生活改善センター。集会所としても地域の方に利用されているが、部屋の間仕切りとして設置しているアコーディオンカーテンが経年劣化してきた。今回、カーテンの代わりに、使い便利が良い両開きの戸を設置する。改修費18万円。また、屋根の塗装が剥げて雨漏りがするため、塗装改修する。工事費86万円。

同じく、西町生活改善センターも、昭和55年度に建てられてから35年以上経過している。地域の方に親しまれてきた改善センターの軒樋（のきどい）や竪樋（たてとい）、庇屋根（ひさしやね）が経年劣化により傷んできた。施設の寿命化を図るうえで、改修工事を行う。

壊れたアコーディオンカーテン

西町生活改善センター全景

産業 建設

車輌通行の安全のために

道路付属施設設置工事に47万円

委員　どこへ車線分離標（ラバーポール）を設置するのか。その目的は。

産業課長　農業者トレーニングセンター東側駐車場と社会福祉協議会の間から、町道スポーツセンター線へ車が出入りできるように、町道落平線の改良拡幅工事をした。車輌が進行する際、転落防止の視線誘導として、路肩部分に車線分離標（ラバーポール）15本を設置する。

道路に設置したポール（イメージ図）

産業 建設

周辺住民の安全のために

東山町営住宅解体工事に100万円

委員　どこの町営住宅を、何棟解体するのか。

建設課長　東山町営住宅は、旧東山小学校近くにあり、昭和31年に建てられた木造平屋建ての住宅だ。60年経った現在、3棟の内2棟は居住者もなく、荒れ放題で倒壊状態にある。当然居住できる状態ではなく、土地の所有者や周辺に迷惑をかけるため2棟を解体する。

解体撤去する東山町営住宅

産業 建設

町民の安全のために

擁壁改修工事に1600万円

委員　工事箇所はどこか。また、どのような工法で工事をするのか。

建設課長　町道加茂山線沿いにある工事予定箇所は、地滑り地帯で、台風・大雨などの要因が重なりコンクリート擁壁に亀裂が走っている。崩壊の恐れがあるため、アンカー工法で工事をする。施工延長40メートル、高さ2メートル。町単独工事で、設計委託料100万円、工事費1500万円。

※アンカー工法とは、地中にセメント造成する定着部と地表付近の構造物を、高強度の引張材で連結させ、引張力を利用して安定させるシステムです。この工法は、(1)斜面安定（2）仮設山留め・土留めなど、土木建築分野において広く利用されています。

改修に必要がある加茂山擁壁

教育 厚生

老人福祉の充実に

送迎車両購入費に810万円

委員　今使用している送迎車は、購入してからの年数はどのくらいか。また、走行距離は。

福祉課長　デイサービスセンター「さざんか荘」で使っている送迎車は、平成5年に購入してから23年が経ち、走行距離15万キロ。「おおぐす荘」の送迎車は、購入してから13年が経ち、走行距離11万キロ。どちらの車両も老朽化が進み、走行もままならない状態である。利用者に不快な思いをさせないために、一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成金（宝くじ助成事業）770万円を利用して、車椅子などを乗せられるリフト付き車両2台を購入する。

さざんか荘の送迎車

おおぐす荘の送迎車

産業 建設

観光交流促進事業

商工会事業補助金220万円

委員　商工会では、どのような事業を展開するのか。

産業課長　町商工会が、※小規模事業者地域力活用新事業全国展開支援事業（中小企業庁補助）を活用し、「都市近郊型スポーツと山村生活を組み合わせた新型レジャーの開発」と銘打ち、小規模事業者の目線による、東みよし町オリジナル観光経営開発に取り組む事業。

東みよし町で体験できるパラグライダーやカヌーなどのアウトドアスポーツを核とし、山の生活・伝統や文化などを体感してもらう旅行商品の造成、商品流通システムの構築、販路開拓プロモーション等を実施する。

本年度の総事業費655万円の内、220万円を商工会事業へ補助する。

パラグライダー

郷土料理

リバースポーツ

※中小企業庁では、地域の商工団体を中心に、小規模事業者等が共同で取り組み、地域資源（農水産品、文化、技術、産業など）を活用した特産品や観光資源の開発、販路開拓などを総合的に支援している。

総務

阿波踊り道具の購入補助

浴衣と道具に250万円

委員　どのような助成事業を使って購入補助をするのか。

企画課長　一般財団法人自治総合センターのコミュニティ助成金（※宝くじ助成事業）250万円を、地域団体等補助金として「みのだ連」の鉦、太鼓などの阿波踊り鳴り物道具一式と浴衣の購入費に充てる。

「みのだ連」は、主に町内在住者約90名（大谷代表）で構成され、4月初旬から10月末日までの毎週日曜日に定期公演しているオアシス阿波踊り（11連が交代で踊っている）や、町の交流事業の一環で、香川県まんのう町のかりん祭りに参加している。

オアシスのステージで踊るみのだ連

※宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備、安全な地域づくりと共生のまちづくり、地域文化への支援や地域の国際化の推進及び活力ある地域づくり等に対して助成を行っている。

総務

地域イントラネット設備

機器更新に500万円

委員　定点カメラは、町内のどこに設置しているのか。

企画課長　現在、町内の三加茂庁舎の屋上、ぶぶるパーク、オアシス、小川谷グランド、三三大橋の5か所に定点カメラを設置している。カメラを通して町内の様子を、ケーブルテレビやインターネットで見ることができる。制御する機器が、設置後5年経過したために更新することになった。更新費用500万円。

三三大橋の上にある定点カメラ

総務

消防団員の安全のために

半鐘台の解体撤去に200万円

老朽化した半鐘台

委員 どこの分団の火の見櫓を撤去するのか。

総務課長 現在、町の消防団は17分団あるが、中には詰所の横に半鐘台を設置している分団がある。半鐘台は、火災発生を見張るため鋼材などを組合せて作った鉄塔。櫓には半鐘をつるし、そのつき方の緩急、点鐘数の差異によって火災の発生や遠近を伝えた。現在では防災放送がとって代わり、火災の発生を知らせている。主に、ホースを干すなどの使われ方をしている。

設置からかなりの年数が経過したことにより、老朽化が進んで危険となっている半鐘台がある。今回は、4か所の解体撤去を予定している。

総務

地域防災力の向上に

防災灯設置に725万円

委員 どのような防災灯を、どれくらい設置するのか。

総務課長 三加茂地区の山間部の集落では、一昨年の12月の雪害による倒木などで停電し、孤立した。その対策として、町では太陽光発電システムを備えた防災灯を、大藤小学校跡地に作られたヘリポート横ほか合計4か所に設置した。その経緯を踏まえ今回、徳島県の※とくしまゼロ作戦緊急対策事業として、携帯電話などの充電が可能な非常用電源装置を備えた防災灯を8か所設置する。今回設置する防災灯の機能を考慮した結果、孤立が懸念される三好地区4カ所、三加茂地区4カ所の山間部への設置を予定している。県からの補助330万円。

※徳島県では、南海トラフ巨大地震及び活断層地震に備え、地震防災・減災対策を計画的かつ着実に推進することにより、被害を最小限に抑え「地震に強いとくしま」を実現するため、「とくしまー0（ゼロ）作戦」地震対策行動計画を策定し、この計画に盛り込んだ各種施策の推進に全力で取り組んでいる。

大藤小学校跡地に設置された同タイプの防災灯

携帯電話の充電機能がついている

議会放送を見るには

東みよし町の議会放送は、テレビ徳島に加入しているお宅のテレビでご覧いただけます。デジタル放送の場合は、**※122チャンネル**で、アナログテレビの場合は地上デジタル放送用のチューナーを接続していただければご覧いただけます。

議会放送は、年4回開催される開会日と閉会日の本議場の様子を生放送と録画での再放送を行っています。議員の一般質問や町の財政、方針がどのように決められていくのかを是非ご覧ください。

操作方法

※①リモコンで12チャンネルを押す

※②選局ボタンの「∧」を押す。

注 メーカーによって操作方法が違うので、ご注意ください。

6月定例会における議案審議の賛否状況について

議案番号	議席番号／議員名／審議した議案等	1 三好正治	2 井添伸一	3 川原勝市	4 南雅彦	5 松浦明人	6 松浦敬治	7 安藤孝明	8 横関道恵	9 坂本健二	10 宮賢司	11 槙山幸一	12 坂本正一	13 長谷川吉正	14 加藤義博	15 川原正一	16 中川祐司
44 専決	平成27年度一般会計補正予算 第11号	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成27年度国民健康保険事業特別会計補正予算 第4号	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成27年度簡易水道事業特別会計補正予算 第5号	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成27年度公共下水道事業特別会計補正予算 第2号	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	×	○	○	○
	平成27年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算 第1号	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成27年度三加茂財産区特別会計補正予算 第1号	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	固定資産評価審査委員会条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○
45	平成28年度一般会計補正予算 第1号	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○
46	平成28年度国民健康保険事業特別会計補正予算 第1号	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○
47	平成28年度簡易水道事業特別会計補正予算　第1号	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○
48	平成28年度水道事業会計補正予算 第1号	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○
49	個人番号の利用等に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○
50	ふれあいグランド条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○
51	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○
52	平成28年度国民健康保険事業特別会計補正予算 第2号	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○
53	平成28年度水道事業会計補正予算 第2号	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○
54	町道路線の変更について	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報	平成27年度一般会計繰越明許費繰越計算書について	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報	平成27年度簡易水道事業特別会計 繰越明許費繰越計算書について	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報	法人の経営状況を説明する書類の提出について	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発	議員派遣	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳	町発注公共工事における現場打ちコンクリート 構造物の適用を求める陳情（採択）	○	○	○	○	○	○	／	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※○＝賛成、×＝反対、退＝退席　※発＝発議、陳＝陳情、請＝請願　※議案の名称は短縮してあります。
※通常の採決に、7番安藤議長は採決に加わりません。

平成27年度オアシス決算

687万円の赤字

6月議会に、法人の経営状況を説明する書類として「吉野川オアシス株式会社」の平成27年度の決算報告がされました。当期損失687万2124円で、2年ぶりの赤字決算となりました。（昨年度は、約53万円の黒字決算）

売上額から見ると、総売上高が4億9091万円（昨年度比7392万円減）で、部門別では、物産売上2億9859万円（昨年度比2924万円減）、風呂売上5060万円（昨年度比215万円増）、施設使用料1398万円（昨年度比458万円増）、飲食売上1億2540万円（昨年度比5141万円減）です。

物産と飲食の売上が減少

主力である物産と飲食の売上が大きく減少したことにより、赤字決算となりました。

純資産から見ると、資本金3億1500万円に対して、ここ数年の赤字決算により純資産は3億773万円（727万円減）となっています。

オアシス

オアシス2年ぶりの赤字

売上の確保に注力する

地域拠点整備事業対策等特別委員会
委員長 松浦明人

オアシスの決算

吉野川オアシス株式会社の２年ぶりの赤字決算報告がなされたこと、および委員会の所管する施設の平成27年度支出額と平成28年度支出予定が決まったことをうけ、平成28年6月８日に委員会を開きました。

はじめに、川原町長より吉野川オアシス株式会社の経営全般についての状況説明があり、今後の方針も示されました。内容としては、国内経済全般に目を向けると、改善されつつある部分も見られるものの、いまだ先行きの不透明感があり、特に観光レジャー・旅行業界においては客足も鈍いのが現状とのことでした。

また、その一方で、アジアのインバウンドも見られるようになってきたものの、吉野川ハイウェイオアシスに関しては、その波及効果は現状では見られないとのことでした。このような現状において、施設や設備の老朽化も進行している。このことを念頭において、今後の方針を決定していかなければならず、施設設備のランニングコストを下げる方法を模索しつつ、売上の確保にも注力して行かなければならないとのことでした。

オアシスの今後の方針

具体的な方針として、本年予定されている風呂の改修の効果や、POSシステムへの移行、飲食部門の強化などを検討していくとの説明をうけました。

委員から、雨漏り対策や施設内の照明などについて、自動車道路本線からのアクセスについての問題点や、今後の課題などについてなど、活発な質問や提案がなされました。

吉野川オアシス㈱については、その経営内容については委員会として詳細に関与することは適切ではないものの、町の資産である資本金の増減にかかる問題でもあり、今後共その運営状況について、しっかりと監視していくことを確認しました。

10の施設は例年どおり

その後、産業課が所管する他の10の施設について、平成27年の町の支出実績と、本年度の支出予定が示されました。これらについては、平成27年実績、平成28年の支出予定とも、ほぼ例年どおりのものであるとの説明を受け、委員会を閉じました。

議会改革特別委員会

委員長 松浦明人

最初の委員会

6月7日に、全委員出席のもと議会改革特別委員会を開催しました。

本委員会は、本町議会が現在の体制となって10年を迎えることを機に、自らの現状と、今後の議会のあるべき姿を検討していくことが必要との認識で、3月議会において特別委員会を設置したものです。今回が初回の委員会となりました。

はじめに、議会改革全般について、現状及び今後の課題や検討すべきテーマ、及び委員会の進め方について検討を行い、定数問題、委員会構成、また全国的な若手議員のなり手不足などへの対応を検討課題とすることを確認しました。

今後のあるべき姿

次に、議会事務局より全国的な町村議会の現状と変遷などを示す資料が配布され、本町の現状と照らし合わせた説明がありました。

これに基づき、意見の交換がなされ、本町議会や県内及び四国内の他の自治体との比較や、安藤議長、及び中川前議長より全国正副議長会における全国的な議会の課題などが報告されるなど、活発な情報交換、及び今後についての議論がなされました。合併による在任特例を適用せずに10年が過ぎた今、議会の現状と、今後のあるべき姿を検討し、方向を定めて行くことで一致しました。

今後、当面は本委員会を毎月開催し、課題に取り組んでいくことを確認しました。

※決定事項

1、当面の議題を次の3項目とする
・定数問題及びそれに伴う委員会構成の変更等
・議員資質向上及び若手議員及び女性議員などの養成を念頭においた報酬額の変更について
・その他、議会の運営手法等について

2、報酬については、改定を決定した場合、報酬審議会の設置を要請する

3、今回の定数問題については、12月議会をもって結論を決定する

議会改革特別委員会松浦委員長の挨拶

5/10 第2回臨時会

5月10日に開催された第2回臨時会では、議会構成の再編の他、工事請負契約の締結、教育委員会委員の選任など2議案を審議し、原案の通り可決しました。

工事変更契約の締結
増額837万円

■契約名／平成27年度簡易水道再編推進事業足代簡易水道第1浄水場整備工事（配水池整備工事）

■契約先／㈱藤川土建

■変更前の金額
8100万円
↓
変更後の金額
8937万円

■変更の理由／配水池を支える基礎工事をするために、3か所の岩盤調査をしたが、結果にばらつきがあった。そのため、基礎杭の長さを確定するために、調査箇所を15か所増やした。この調査結果による杭の長さの合計が、当初予定していた384メートルより77メートル伸びたことにより工事金額の増額となった。

※工事契約価格が5000万円を超える場合は、議会の議決が必要です。一度議決をしていましたが、契約金額が8000万円を超える工事の変更のため、再度議会の議決が必要となりました。

杭基礎工事

人事案件

教育委員会委員

下岡　ひろみ 氏

前任者が任期満了となるため、後任に下岡ひろみ氏（62歳、昼間）を選任することに同意しました。任期は4年です。

6/23 広報研修会

広報特別委員会

委員長　長谷川　吉正

広報研修会に参加

広報委員会では、3月、6月、9月、12月の定例会後に議会だよりを発行しています。表紙の写真の取材から始まり、予算審議や一般質問の原稿などを含めた紙面全体の編集をしています。議会での審議や予算など、住民生活に直結する内容をわかりやすく、簡潔に伝えるには紙面づくりの技術を学ぶ必要があります。

そこで、わかりやすい紙面づくりを目指し、6月23日から24日にかけて「広報基礎講座2016」に広報委員全員が参加してきました。

わかりやすい紙面を目指して

京都テルサホールで開催された「広報基礎講座2016」の1日目は、「文書の書き方、表現、表記」講師・佐竹秀雄氏、「効果的な編集とレイアウト」講師・吉村潔氏、2日目は、「企画・取材のノウハウ」講師・吉田三千代氏、「広報写真の取り方と活用法」講師・川西正幸氏の講演がありました。各分野の専門家の視点から、広報を作るうえでの注意点やポイントを詳細に教えていただきました。

この研修を機に、より一層のわかりやすい紙面づくりを目指したいと思います。

京都テルサホールでの講座

7/19 徳島県町村議会議長会研修会

議会議員のスキルアップのために

7月19日（火）、徳島グランヴィリオホテルで、平成28年度徳島県町村議会議長会研修会が開催されました。国際政治・軍事アナリストの小川和久氏による「日本人に国を守れるか」と題しての講演や、福山大学客員教授の田中秀征氏による「最近の政治と経済」と題しての講演がありました。二人とも全国ネットのテレビで活躍する方の講演なので、今後の議会活動に生かすべく、議員一同熱心に拝聴しました。

熱弁をふるう小川和久氏

5議員

13項目の質問を行い、町の考えをただしました。

まちの考えを問う

一般質問

本町の教育大綱のポイントは

教育長▼実効性のある教育施策

川原（かわはら） 勝市（かついち）議員

川原 勝 **本町の教育大綱が策定されたが、そのポイントは。また、教育行政の推進を今後、どのように図ろうと考えているのか。さらに、住民等への周知方法は。**

教育長 この度、法律の一部改正を受けて教育委員会と校長会で大綱の素案を作成し、総合教育会議において決定した。

1ページ目には、大綱の基本理念を掲げており、地域づくり、地方創生を最終目標として、中長期的な視点で実効性のある教育施策を展開するものとしている。最終ページに示した町立学校学園構想は、三加茂中学校区・三好中学校区、それぞれの小・中学校の教員が学校や地域・文化の違いを乗り越え、きめ細やかな情報共有、相互交流を基に連携し、子どもの学びに連続性を持たせるための構想である。

大綱の策定年となった平成27年度を教育創生元年と位置付け、教職員一丸となって、より良い教育と改善、改革を進めているところである。この大綱については、関係機関に配布すると共に、町ホームページにも掲載している。

東みよし町の教育

東みよし町教育大綱

平成２８年３月

徳島県東みよし町

東みよし町教育大綱

みかも保育所の民間委託の進捗は

町長▼平成29年4月の開園を目指す

川原 勝 **昨年9月議会の教育厚生常任委員会において、みかも保育所の民間委託について聞いた。町長の答弁は、平成29年ごろを目指し、準備等を進めていきたいとのことだった。現在の進捗状況は。**

町長 近日中に、検討委員会をたち上げ、協議を進めたいが、保護者や入所児への影響、また、周辺住民への影響、さらに職員の処遇等々について委員各位から意見も聞きながら検討を重ねた上、委託に向けて努力したいと考えている。

当初の目標は、平成29年度の開園であり、今後さらに準備を加速したいが、子どもの問題や職員の問題等が解決できなければ、一年延長し、30年度からの民間委託になるかもしれない。

みかも保育所

ドルフィンの利用状況について

産業課長 ▶ 月平均3729名

坂本　健二議員

ドルフィンスイミングクラブ

坂本健　ドルフィンスイミングクラブの利用者の状況、並びに健康生協からの無償提供のトレーニング器具の設置状況はどうなっているのか？

産業課長　月別利用者状況は、平均で3729名、580名が会員。スポーツ用具の設置状況は、ランニングマシン4台、エアロバイク5台、ステップマシン1台、筋力トレーニングマシン6台で、全部で16台が健康生協より贈呈されている。

ドルフィンにこのトレーニング器具を置くことによって、平日で40名、土日で25名、年間で9万6000人の利用を見込んでいるとのことだ。

坂本健　健康生協という民間企業が行政に対して、無償でトレーニング器具を寄贈する。民から官へ譲渡をしたということだ。これらの器具は、健康生協がフィットネス34設立当時から買っている高額商品である。役場として管理し、今後も備品台帳に載せて管理をするべきだ。

また、フィットネス34が、農業者トレーニングセンターの施設の中にあったわけだが、農業者トレーニングセンターと名がついている以上は、トレーニングジムがあるべきだろうと思う。

ドルフィンに設置された運動器具

一般質問

みよし保育所の有効利用について

福祉課長 ▼ 幅広く意見を聞く

坂本健　3月末で廃所となったみよし保育所の、今後の具体的な利用方法は決まっているのか。

また、小川谷・南平台自治会から集会所として1部屋を使いたいとの嘆願書が出ている。年間の維持経費はどれぐらいかかるのか。

福祉課長　具体的な利用方法については、現在のところまだ決まっていない。幅広く住民の方々の意見等を聞きながら、有効活用を図っていきたいと考えている。

保育所使用時、水道代が月額2160円。電気代が3万7056円。年間では約47万円。浄化槽の維持管理費が約8万6000円。合計すると、水道・電気の使用料を除き、年間約56万円かかる計算になる。

坂本健　保育所の一部屋一部屋を有効活用するということで、地域おこし協力隊や、サテライトオフィス（SO）に貸し出しをするなど、民間活力に活用してもらってはどうか。

町長　利用方法については、広く希望を募りたいと考えている。SOにも活用できる幅を持たせた考え方をもって対応し、地域おこし協力隊については、町のニーズや目標を決めてからでないと、募集する意味はないと思っている。

みよし保育所

危険個所の把握は

総務課長▼把握していない

はせがわよしまさ
長谷川吉正議員

長谷川 熊本地震が発生し、2度の大きな地震により家の倒壊、ブロック塀が崩壊し、小さな道路を塞いでいた。本町でもブロック塀の倒壊の点検をしたことがあるのか、そういう危険箇所の把握はしているのか。

自主防災組織と連携して、地元での点検活動等の取り組み、専門家を招いての勉強会等の考えはあるのか。

熊本地震での家屋の倒壊

総務課長 現在、倒壊のおそれがあるブロック塀の点検状況や、倒壊の危険箇所については、把握していない。

災害時に、避難路として使用できるかどうか等の危険箇所の点検を、各自主防災組織に活動として呼びかけていこうと考えている。

災害によっては、河川の洪水、内水の氾濫、土砂災害、地震によって避難路も変わってくると思われるので、専門的な方の助言もいただき、呼びかけていく。

長谷川 地震発生後の仮設住宅用地の確保はしているのか。

総務課長 地震発生時、東みよし町では150戸の仮設住宅が必要になると予想されている。現在、仮設住宅用地候補地として、三加茂中学校校舎北側空き地、三加茂中学校Bグラウンド、旧三加茂中学校跡地、三好総合運動公園駐車場、旧行常住宅跡地の5カ所を想定している。

マイナンバーの管理は

総務課長▶鍵のかかるロッカーに保管

長谷川 今、マイナンバーが交付されてから、いろいろな申請をするときに、マイナンバーの提示を求めるケースはあるのか。そうした場合、管理はどこが一元的に管理しているのか。

総務課長 現在、社会保障の分野で国民健康保険、後期高齢者医療制度、子ども・子育て支援法による保育所、幼稚園の申し込み、児童手当、障害者総合支援法による給付関係、母子手帳の交付、母子健診、予防接種の一部、またマイナンバー法の社会保障で使用できる事務と目的が同じで、条例で定められた事務についてもマイナンバーが使用でき、はぐくみ医療助成及び重度心身障害者医療助成等にも提出をお願いしている。

個人番号カードの見本

税の分野で、固定資産税の償却資産税申告、固定資産税及び軽自動車税の減免申請にマイナンバーの提出も求めており、さらに、町が報酬、賃金、借地料、登記手数料の支払い先の方にもマイナンバーの提出を求めている。

管理については、書類を各部署で鍵のかかるロッカーに保管している。

女性管理職の割合は

総務課長▼30%以上にする

長谷川 今、本町における女性管理職と言われる部分の人数と、職員全体に占める割合と、目標値はあるのか。行動計画書を作成しているのか。

また、新人職員の採用時に、女性職員の人数、割合を考えて採用をしているのか。

総務課長 女性管理職は現在、課長級、保育所長、児童クラブ所長が4名、主幹級が12名の計16名。全職員158名中、約10%。

また、本年の3月に策定した東みよし町における女性職員の活躍の推進に関する特定事業主行動計画の中で、管理的地位にある職員の占める女性の割合を、平成27年度実績26%を、5年先、平成32年までに4%引き上げ、30%以上にするという目標値がある。

女性職員の採用割合を50%程度とし、バランスのよい男女構成比を目指したい。今現在の女性職員は64名で、全体の40.5%。

その他の質問

ふるさと納税について

総務課長▼返礼品の追加は考えていない

庁舎の統合の必要性は

参事▼計画を立てていない状況

井添（いぞえ）　伸一（しんいち）議員

井添　昨年の12月議会で、庁舎統合による加茂庁舎増築基本設計の予算200万円が計上された。住民サービスの充実と行政面のバランスに考慮し、町民・行政がともに満足を得られるため、三好庁舎の全課を本庁舎である三加茂庁舎に統合し、増築を考えるということだ。三加茂一極集中で、三好地区の昼間、東山、増川の住民の感情を考えたことはあるのか。24年後に、東みよし町の人口は1万人前後と予想される。今、庁舎を統合させ、増築する必要があるのか。

参事　2040年、1万人前後に人口が減ると職員も減るという議論になるが、総務省発表の類似団体では、130人ぐらいが平均的な職員数になる。

三加茂庁舎に統合するうえで、増築をすれば、機械類、情報関係の電算システムが増え、またマイナンバー制度により、国からセキュリティー対策としての機械が少し増える。十数名の職員の減数なら、将来的には大きな不都合は生じないが、現時点では、詳細の調査も計画も立っていない状況である。

三加茂庁舎

通路問題を再検討しては

町長▶早急に検討、協議をしていく

井添　町の看板であるハイウェイオアシスの発展は、全体の協力が必要である。10年前に吉野川ハイウェイオアシスの協議会があったが、もう一度協議会を立ち上げて、ETCなど通路問題や周りの環境全体のバランスを再度検討してはどうか。

町長　わかりやすく、安全なスマートICができないか、産業課の方で資料を模索している段階である。協議会を設置して再検討という話だが、産業課、建設課を含めて案を作成し、高速道路の事務所なり、公安と協議をしていくので、協議会までは要らないのでは。とりあえず代替案を早急に策定し検討、協議をしていく方法をとりたい。

オアシス前にあるETC出口

御縁計画を実施しては

町長▼人口減少を食いとめる努力をする

井添　若者自体が少なくなり高齢化で、町が衰退していく。今からでも打開策を考えていかないと、町そのものがなくなってもおかしくない。そこで、東みよし町の人口の増加のために、御縁計画はいかがか。結婚で5万円（御縁）、子供が生まれて5万円（御縁）、小学校入学で5万円（御縁）。ほかにもっといい案があれば、考えてみてはどうか。

町長　町としては、現在の施策をさらに拡充し、充実したものにしていきたいと思う。本年度より新婚家庭の新築、住居を町内に構えれば、条件付きだが、最高100万円まで補助施策を考えている。7月頃には決定をして、補助金について広報したいと思っている。今は人口減少をできるだけ食いとめるために努力をしていきたい。

子どもが生まれて5万円（御縁）？

一般質問

障がい者の災害支援について

福祉課長▼様々な対応と支援グッズは検討する

よこぜき　みちえ
横関　道恵議員

横関　視覚障がいは情報障害であり、情報をすばやく伝えることが大事だ。災害時の避難所では生活が困難なこともあるため、福祉施設などで福祉避難所を設置しているところもあると聞く。視聴覚障がい者の災害時の避難所での支援対策と、障がい者の福祉避難所の対応はどのように考えているのか。

また、弱者の立場に立って災害時の支援グッズなどを開発し、町全体で共有してはどうか。

障がい者支援ベスト

福祉課長　災害時における避難所等での支援マニュアルは作成していないが、県の災害時要援護者支援対策マニュアル、災害時障がい者支援ハンドブックを活用しながら、避難所生活での視聴覚の障害による不利益を低減させていく。

また、福祉避難所については、特別養護老人ホームみよし苑、特別養護老人ホーム健祥会たんぽぽ、老人保健施設の健祥会シェーンブルン、ケアハウスマリア・テレジアの4カ所が指定されている。

災害時の支援グッズについては、他の自治体の情報なども収集して、町全体で共有できるような適切な方法を考えていく。

盲人のための
国際シンボルマーク

耳マーク

今後の事業計画とビジョンは

町　長▶安心して暮らせるまちづくり事業の推進

今後の展望を語る川原町長

横関　東みよし町合併10周年を迎えて一つの大きな区切りとなり、町長の任期もあと2年となり、折り返し地点になった。さまざまな事業を推進しているが、今後の2年間の事業計画とか、町長の政策ビジョンはどのように考えているのか。

町長　住民の皆様一人一人が安心して暮らせる、安心して子育てができる環境づくり必要だと思う。そういった中で企業誘致なり、インフラ整備、ハード・ソフト事業を含めた環境整備を進めていきたい。

まず、吉野川の築堤の推進、そして、県道三加茂東祖谷山線、鳴門池田線、丸亀三好線の3線をさらに改良推進に努力をしたい。

町道関係は、東部福祉センターから東への道路改良、谷藤ファームの東側の道路は早急に進めたい。三加茂地区については西山路あたりの道路が未改良なので、国道からのタッチを含めて改良を進めていきたい。

生活関係は、昼間第1浄水場、三加茂地区の浪内浄水場のろ過機についても早急に解決したい。

三好庁舎3階のテレコメディアの拡張。吉野川ハイウェイオアシスの改修等、住民の皆さん方のご意見なり、あるいはまた議会の皆さん方のご支援をいただいて、事業を進めていきたい。

三三大橋から見た築堤建設風景

一般質問

議会を傍聴しませんか

皆さんが選んだ代表が議場でどんな発言をしているのか自分の目と耳でお確かめください。

どうぞお気軽にお越しください。

定例会は年４回(3月・6月・9月・12月)に開かれます。

日程・手続き等は議会事務局へお問い合わせください。

TEL　82-6317

次の定例会は9月中旬です。

テレビ放送を予定しています。

表紙の写真

7月中旬、梅雨前線が日本列島に居座っている中。久しぶりの快晴に恵まれ、プールで1年生の子どもたちが元気いっぱいはしゃいでいました。

まちの人 元気な東みよし町のグループ

●シリーズ32●

サルビアクラブ

サルビアクラブは、昨年11月に東みよし町を中心とした団体、企業、個人が集まり、子供達のスポーツ環境のより良い向上に貢献し、地域の活性に寄与できる事を目的に立ち上げたクラブです。代表は山田周作（古川）。町の花「サルビア」をクラブの名称にしました。

キッズサッカー教室、世代別サッカー大会などを企画し、各種団体と協力しながら「次の世代のために、今やらねば」をキャッチフレーズに活動し、子供達が元気に活躍する姿から、大人達もエネルギーを貰っています。

これまでの活動内容は、加茂サッカースポーツ少年団、三加茂中サッカー部に横断幕を寄贈。また、世代別日本代表選手（三加茂中生）に遠征費の補助、加茂・三庄児童館、みのり乳児園にソフトモールドボールを寄贈しています。

今年の正月・サッカー蹴り初め風景

編集後記

▼全国では、地震や大雨などの災害が多く発生しています。これから夏本番、いつゲリラ豪雨に見舞われるかもしれません。今一度、避難場所や緊急連絡・避難グッズなどを家族の方と話し合いを持ち、確認をしてみてください。備えあれば憂いなしとも言います。点検してくださいね。

▼さて、５月に委員会の構成が変わり、広報特別委員会の委員として、再度活動することになりました。広報委員として、皆様のご意見・写真撮影などをお願いすることもあると思いますが、ご協力よろしくお願い申し上げます。

広報特別委員会　委員　横関　道惠

発行　東みよし町議会　〒779-4795　徳島県三好郡東みよし町加茂 3360
編集　広報特別委員会　TEL 0883-82-6317　FAX 0883-82-6318
http://www.town.higashimiyoshi.lg.jp/gyosei/gikai.html
印刷　㈱中村両栄舎印刷所